

1 調査の目的

中学生期のスポーツ・文化芸術活動における学校部活動の地域クラブ活動への移行について、県内の児童（5,6年生）、生徒、保護者、教職員の意識を把握・分析することにより、本県の部活動の地域移行における環境整備に係る施策の方向性を明らかにする。

2 調査の名称

中学生期のスポーツ・文化芸術活動について

3 調査の対象及び調査数

- (1) 小学校調査…公立小学校、義務教育学校前期課程及び特別支援学校小学部の5・6年生全員
- (2) 中学校調査…公立中学校、義務教育学校後期課程及び特別支援学校中学部の1～3年生全員
- (3) 保護者調査…上記(1)、(2)の児童生徒の保護者全員
- (4) 教職員調査…公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校の教職員全員

	小学生	中学生	保護者	教職員
令和5年7月	4,546人	3,829人	9,962人	1,979人
令和7年3月	4,522人	5,425人	11,101人	2,370人

4 調査事項

- (1) 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について
 - ①休日の地域移行についての認知度
 - ②現在の活動の所属先(中学生、保護者)
 - ③現在の活動を行う(行わない)理由・目的 ※顧問は、「活動で大切にしていること」
 - ④現在の活動への満足度
 - ⑤指導者、保護者が負担に思うこと(保護者、教職員のみ)
 - ⑥現在の活動場所までの主な移動手段
- (2) 地域クラブ活動について
 - ①休日の活動が地域クラブ活動になった場合に期待すること
 - ②地域クラブ活動に移行する場合に不安なこと
 - ③平日及び週休日・休日のスポーツ・文化芸術活動に希望する活動頻度

5 調査の方法

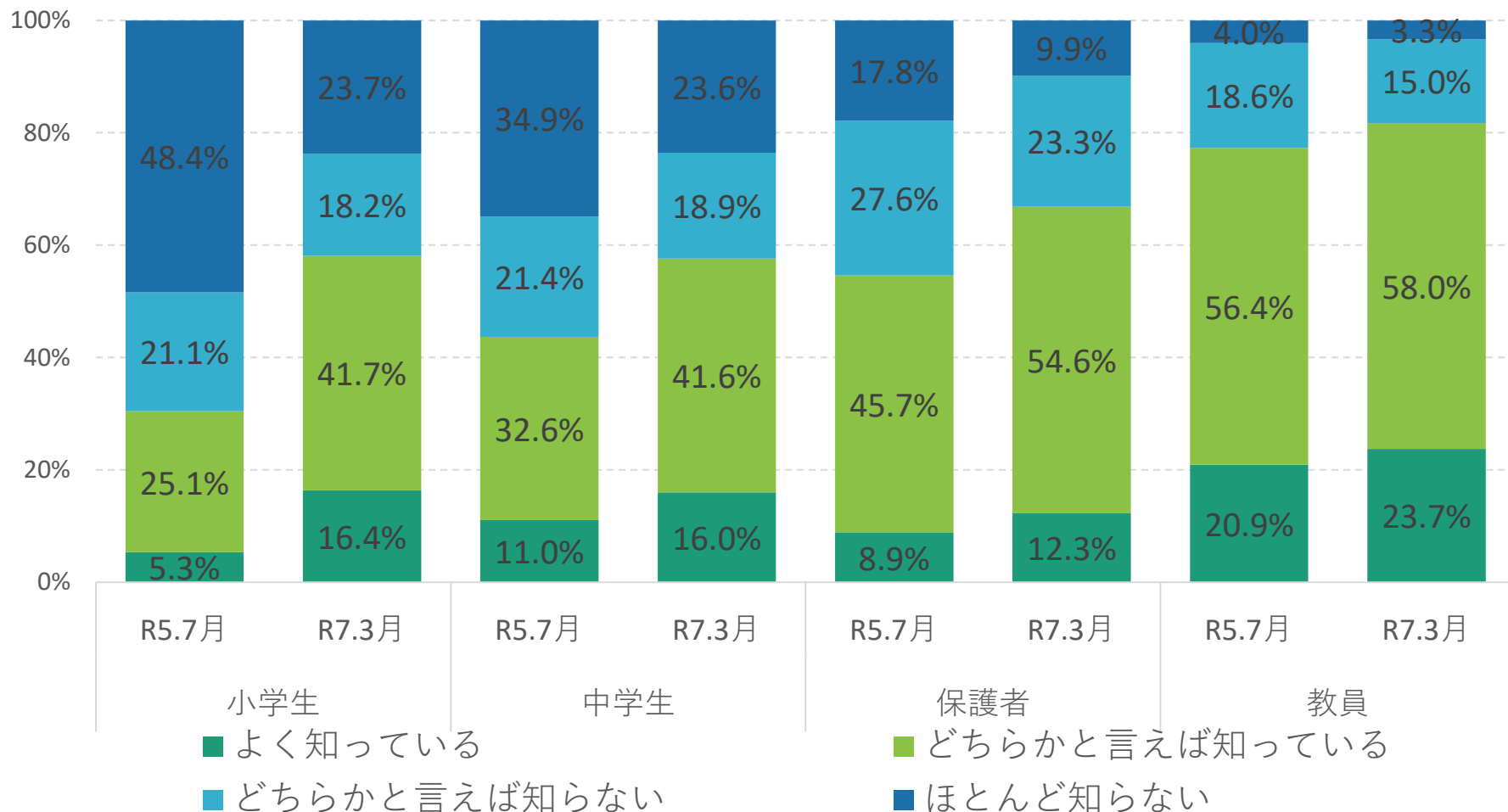
FORMS (URL又はQRコードにより、各自で回答) による任意のアンケート調査

6 調査実施日

令和5年6月22日(木)～令和5年7月14日(金)まで
 令和7年3月3日(月)～令和7年3月14日(金)まで

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

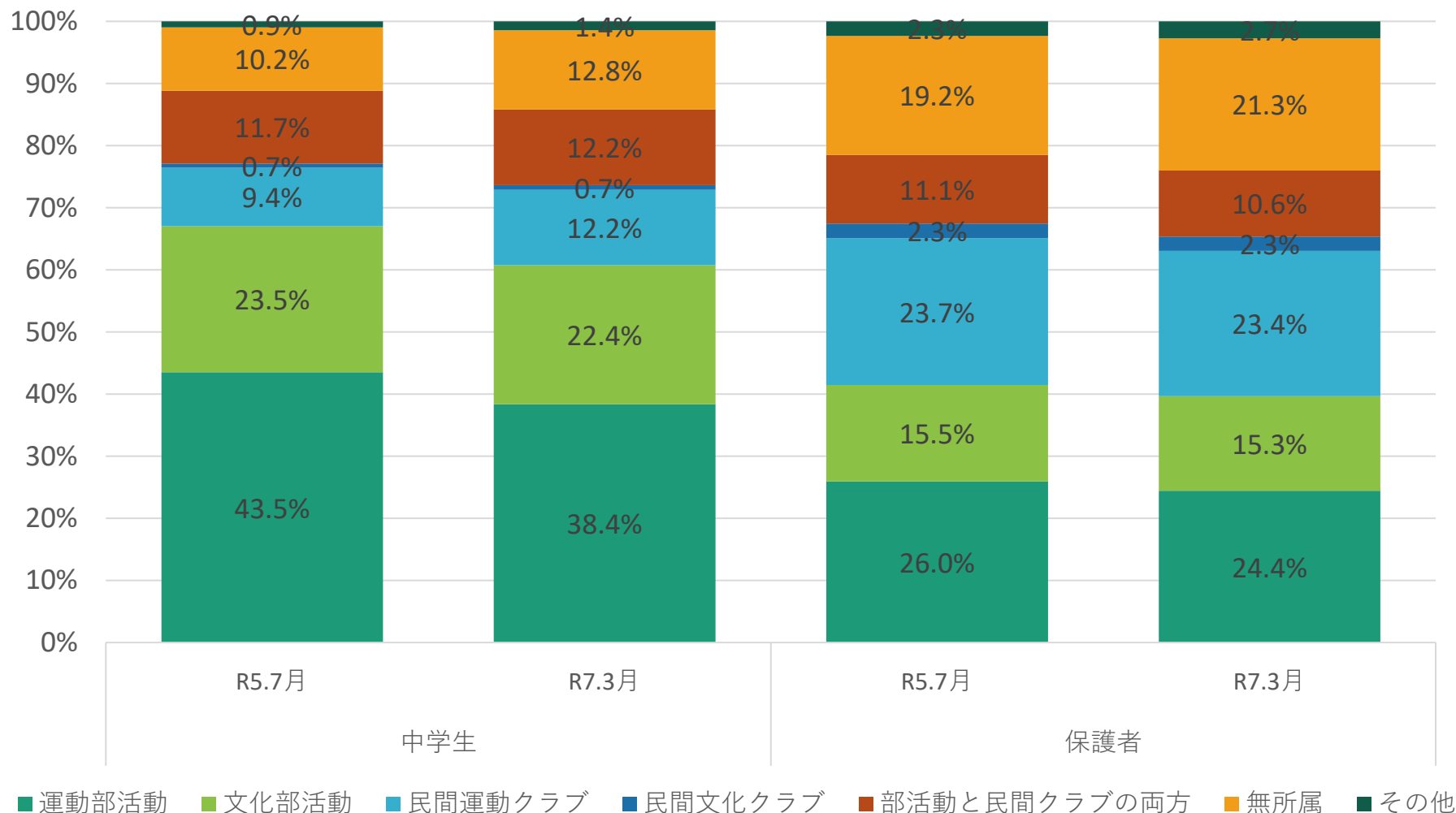
(1) 休日の地域移行についての認知度



「よく知っている」「どちらかと言えば知っている」を合わせた回答は、小学生58.1%（+27.7%）、中学生57.6%（+14.0%）、保護者66.9%（+12.3%）、教員81.7%（+4.4%）と、前回に比べて認知度が高まりつつあるが、小中学生への理解啓発がさらに必要。

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

(2) 現在の所属先の状況（中学生、保護者回答）

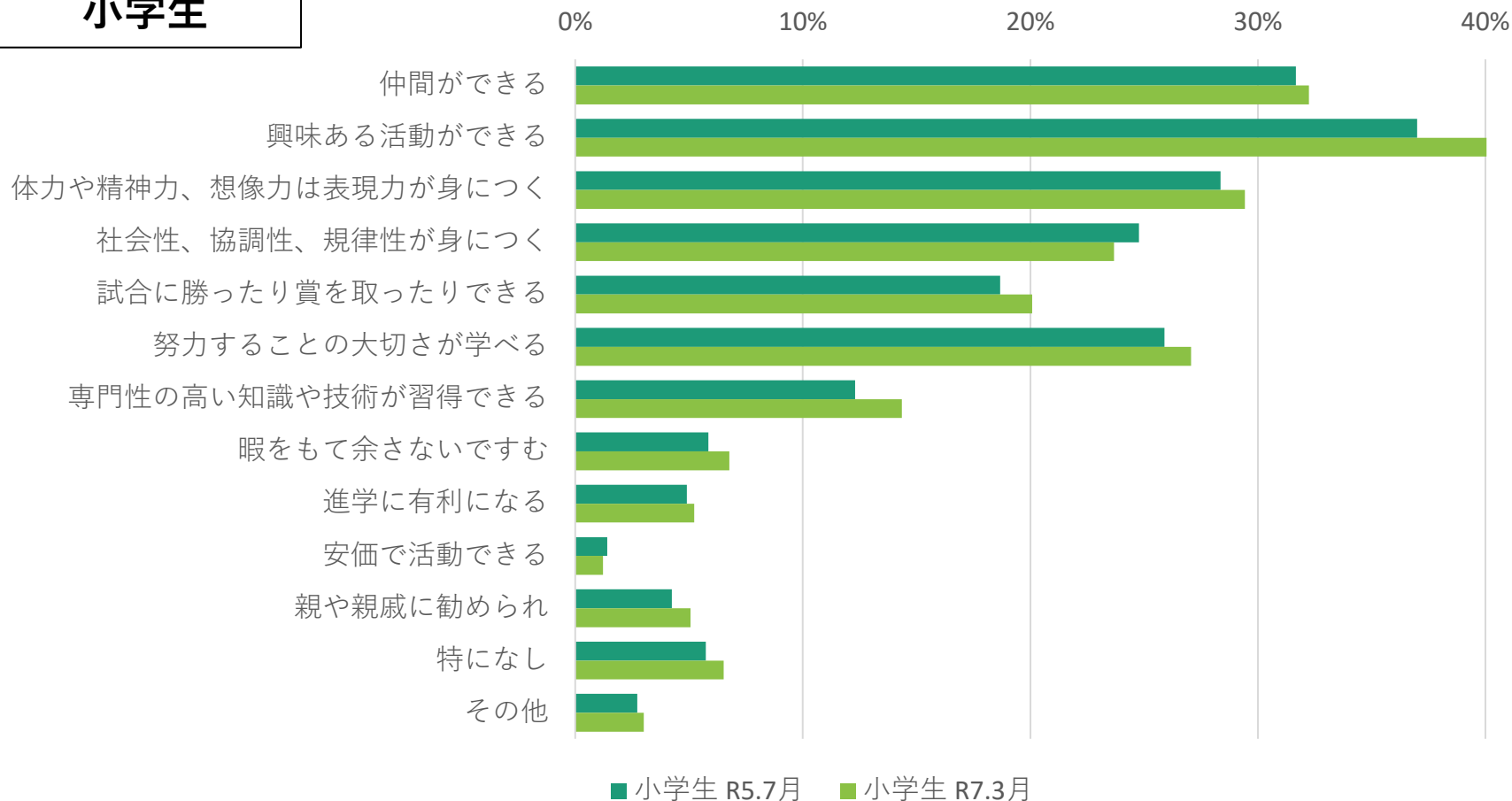


中学生、保護者とも部活動所属状況が減少し、民間クラブ所属状況が増加（運動系が顕著）している。一方で無所属の生徒が増加しており、生徒のニーズに応じた地域クラブの環境整備が必要。

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

(3) - 1 現在の活動を行う理由・目的（上位5つまで複数回答可）

小学生

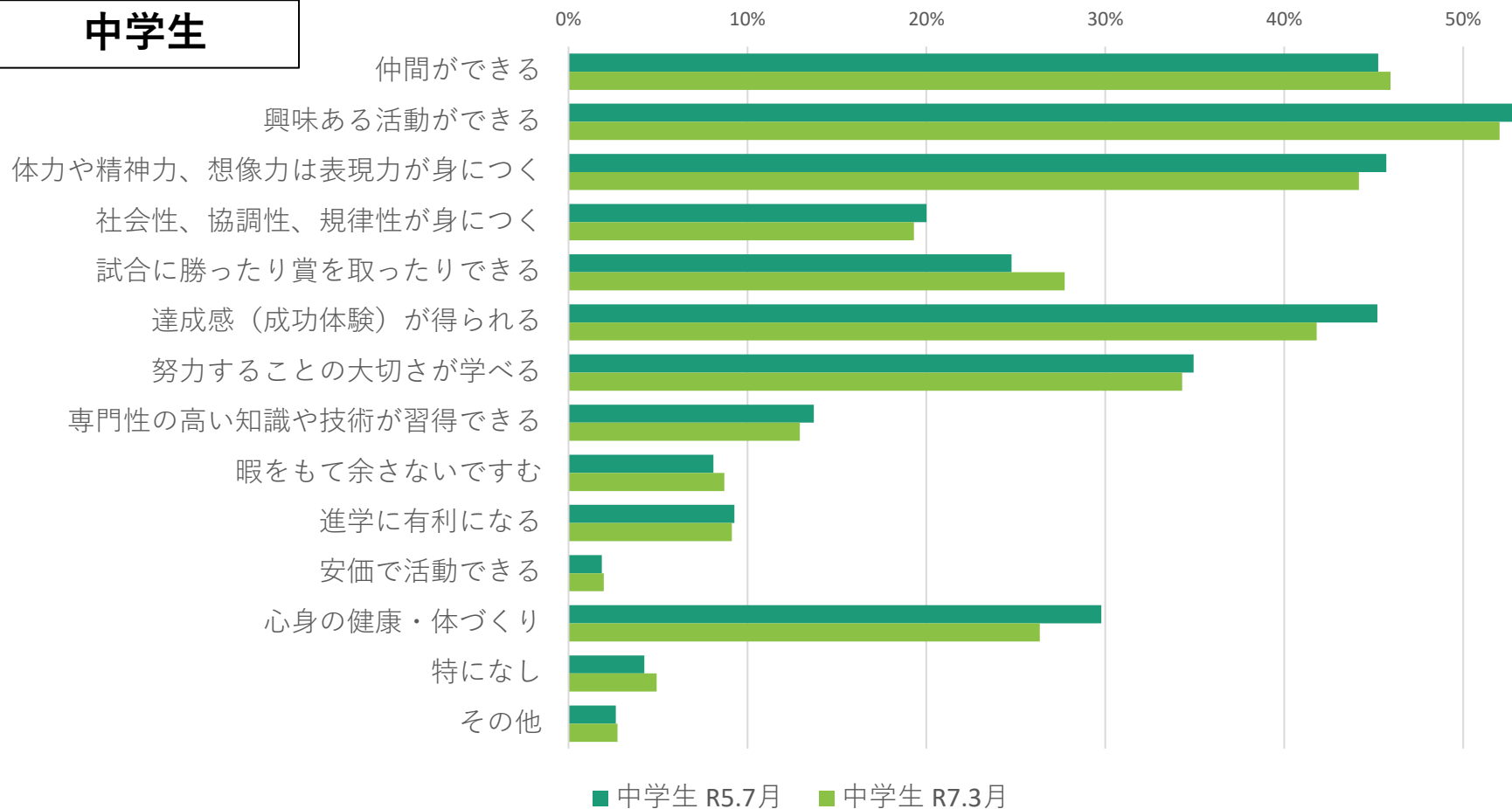


小学生の活動目的上位5つ（①興味 ②仲間づくり ③体力や表現力 ④努力する大切さ ⑤社会性）は変わらない。多くの項目が前回調査より割合を伸ばしており、特に、興味ある活動（+3.0）、専門的指導（+2.1）が大きく伸ばした。

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

(3) -1 現在の活動を行う理由・目的（上位5つまで複数回答可）

中学生

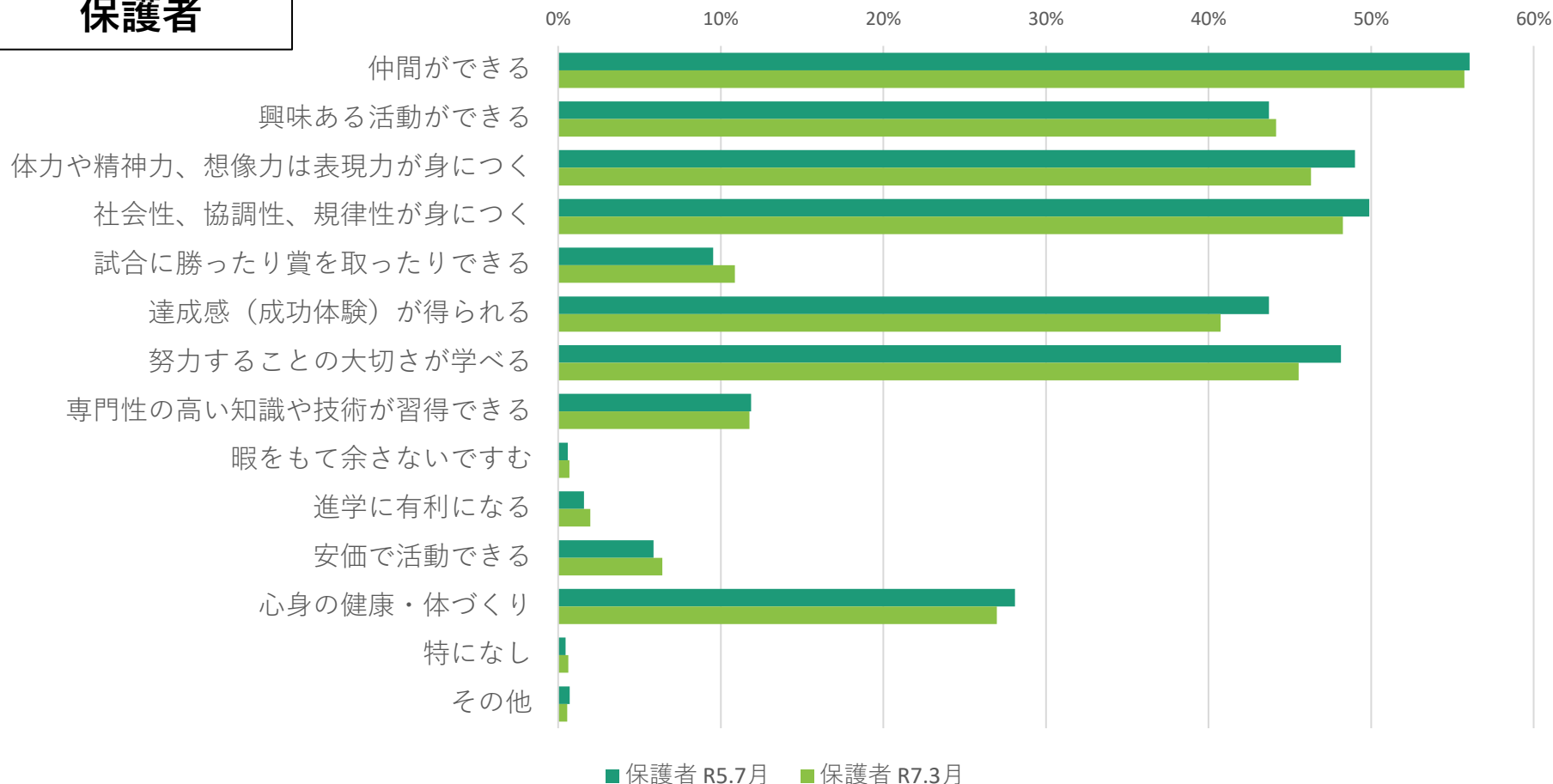


中学生の活動目的上位5つ（①興味 ②仲間づくり ③体力や表現力 ④達成感 ⑤努力する大切さ）は変わらない。大きく変化した項目は、試合に勝つ（+3.0）、達成感（-3.4）、心身の健康・体づくり（-3.4）になっている。

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

(3) -1 現在の活動を行う理由・目的（上位5つまで複数回答可）

保護者

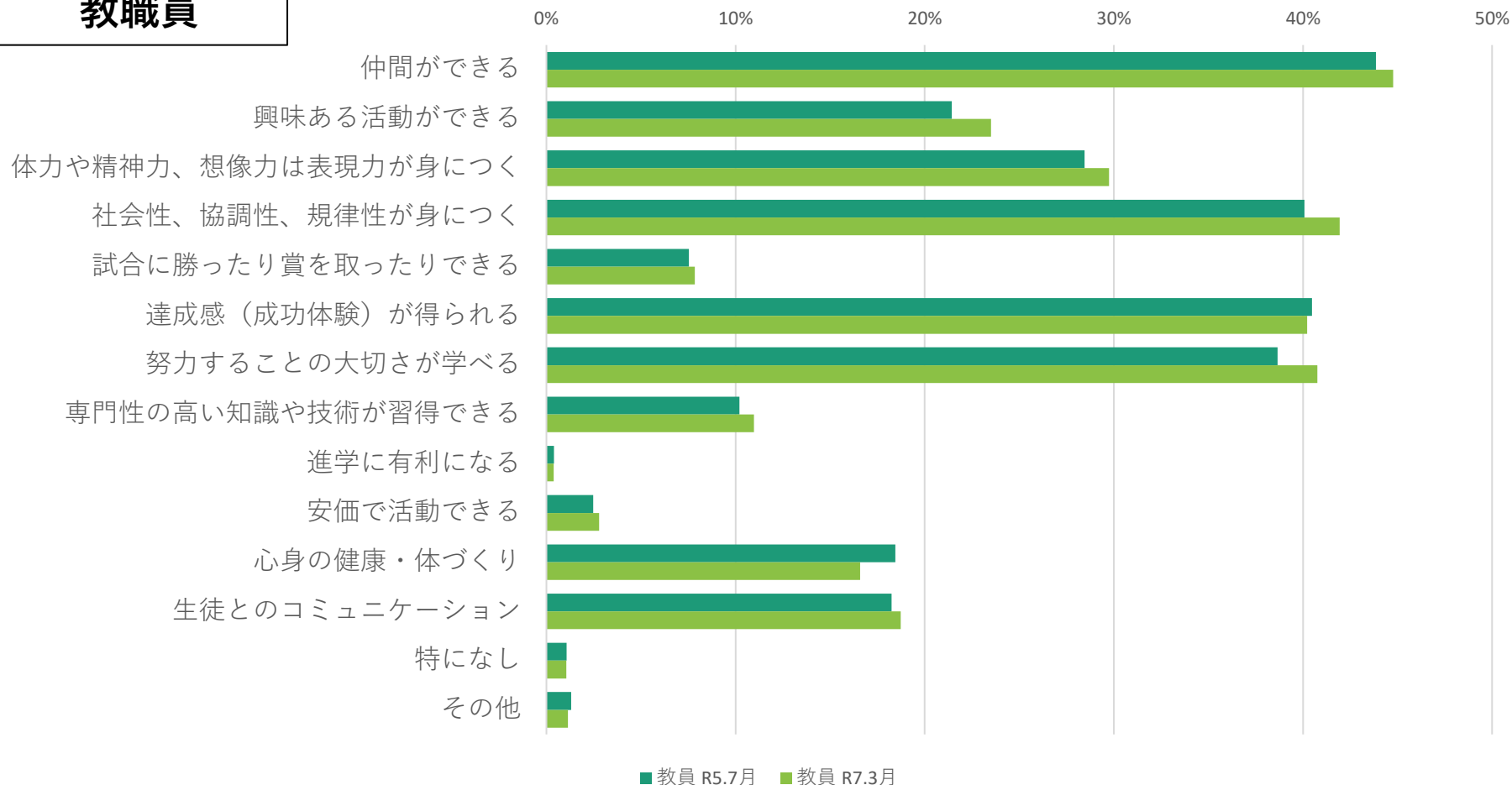


保護者の大切にしたい活動目的上位5つ（①仲間づくり ②社会性 ③体力や表現力 ④努力する大切さ ⑤興味ある活動）は変わらない。達成感（**-3.0**）、体力や表現力（**-2.7%**）、努力する大切さ（**-2.6%**）の割合がやや低くなった。

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

(3) - 1 現在の活動を行う理由・目的（上位5つまで複数回答可）

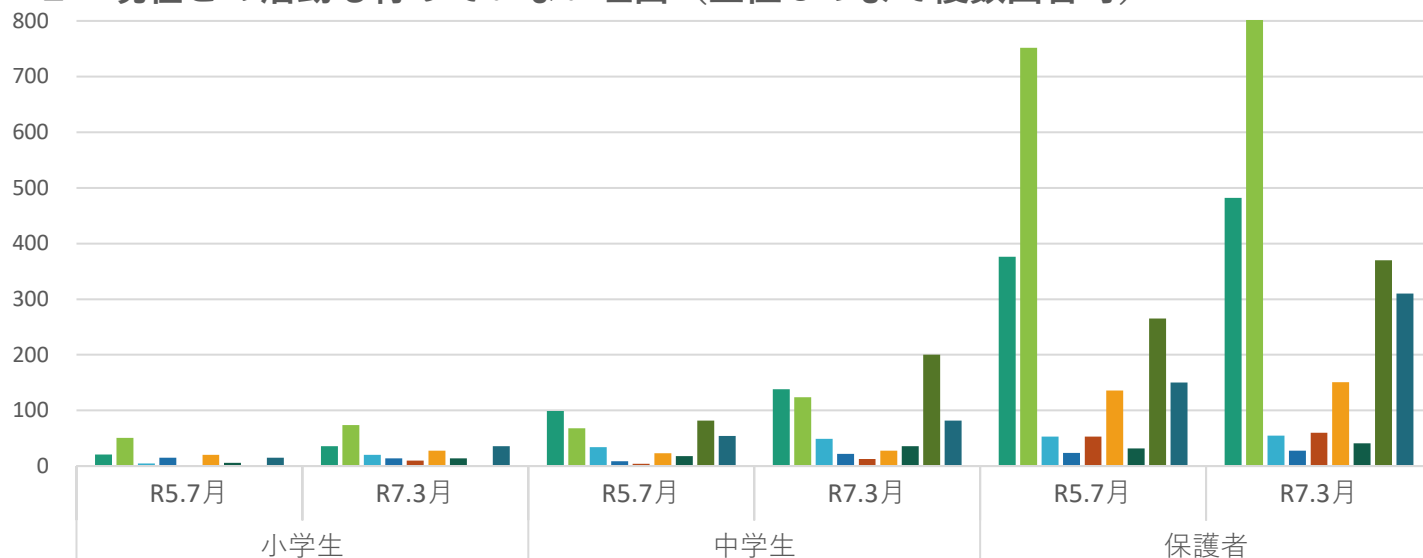
教職員



教員の大切にしたい活動目的上位5つ（①仲間づくり ②社会性 ③達成感 ④努力する大切さ ⑤体力や表現力）は変わらない。興味ある活動（+2.1）、努力する大切さ（+2.1）、社会性（+1.9）の割合がさらに高くなった。

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

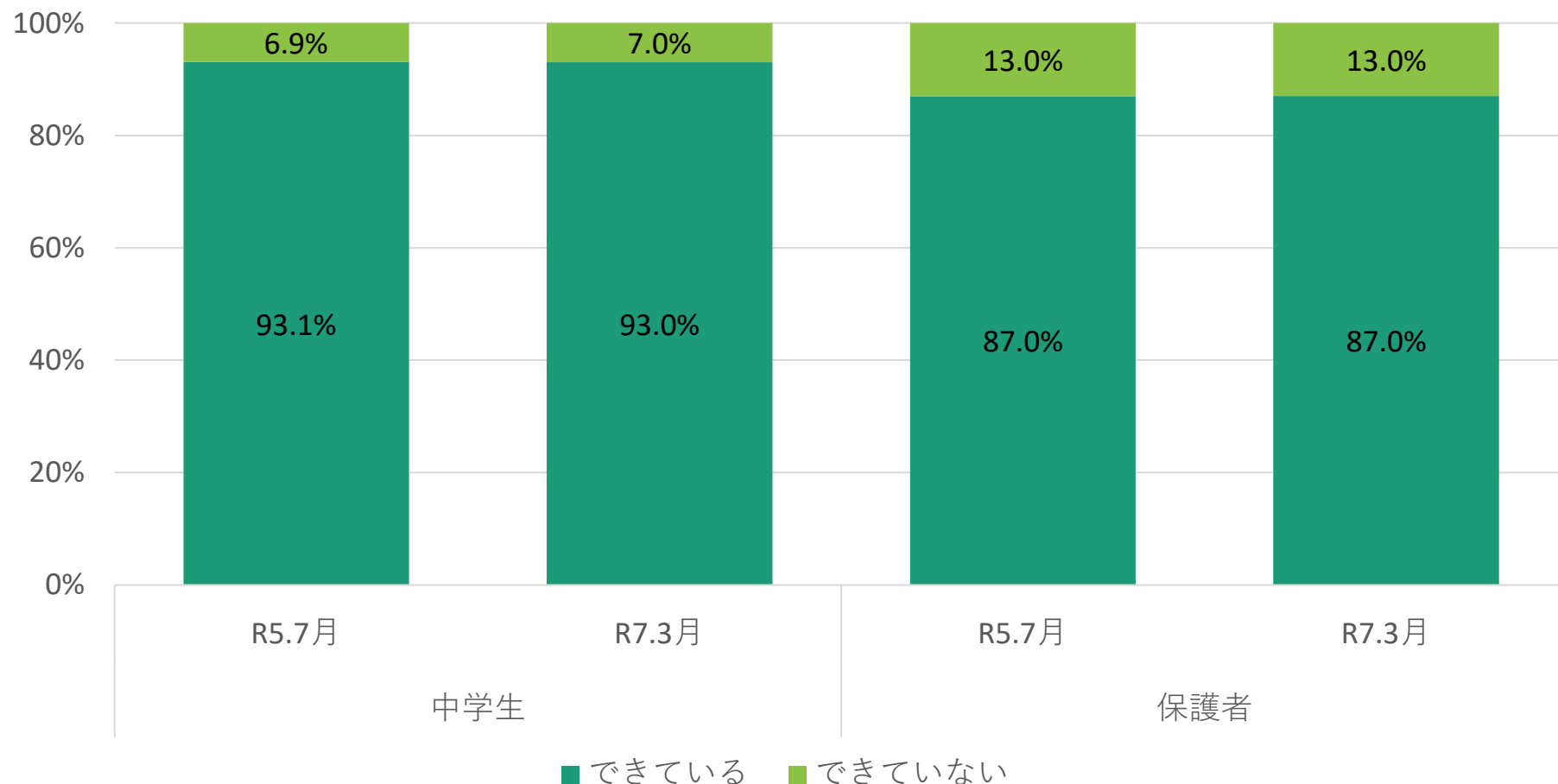
(3) -2 現在どの活動も行っていない理由（上位5つまで複数回答可）



部活動や地域クラブ活動を行わない理由として、保護者は、「自由な時間がほしい」「やってみたい活動がない」としているが、児童生徒は、「自由な時間がほしい」が多く、他は大差がない。

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

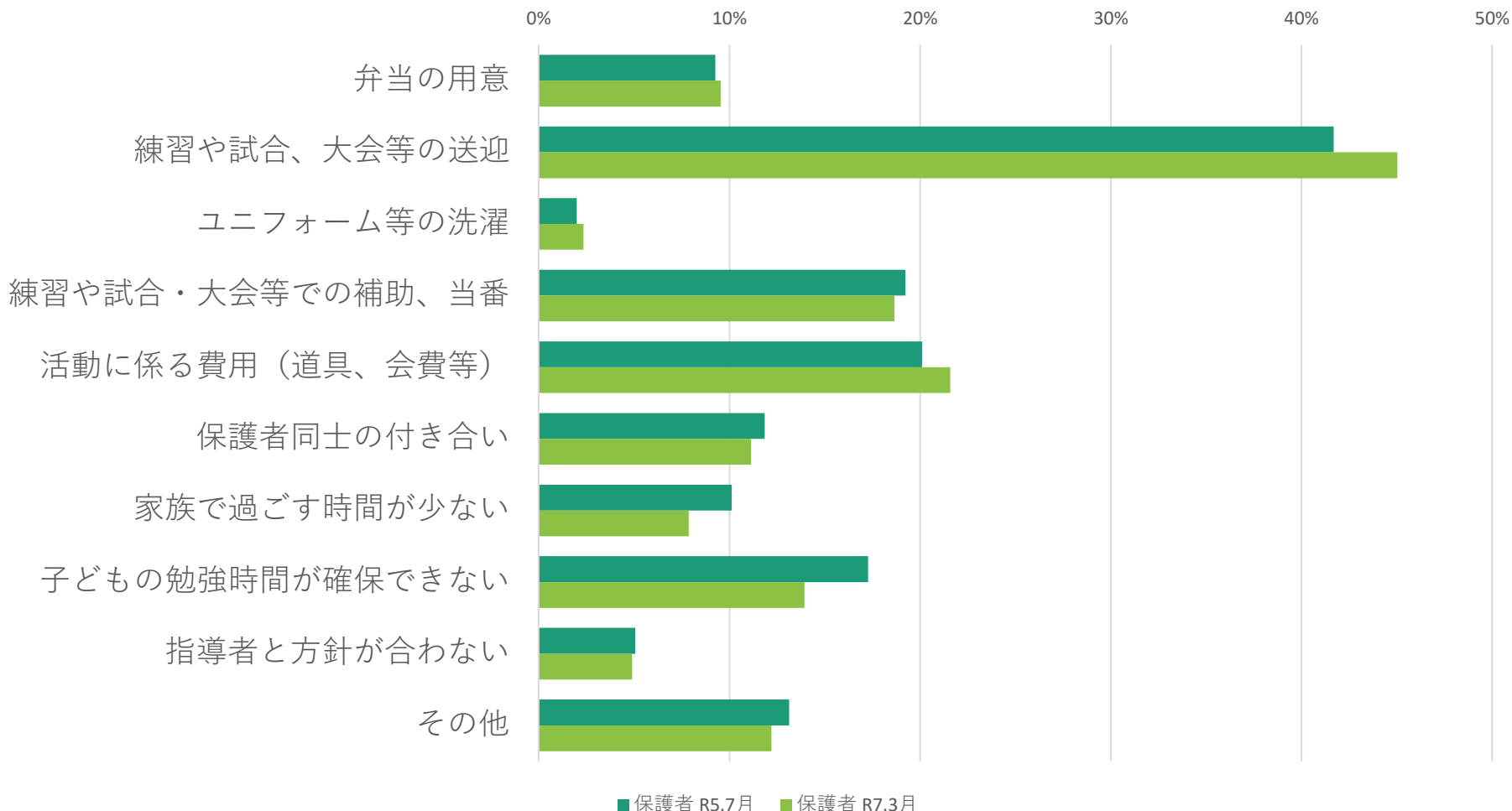
(4) 現在やりたい活動ができているか（中学生、保護者回答）



前回調査から1年半以上経過し、部活動に代わる地域クラブ活動への移行が進む中、中学生・保護者とも「現在、やりたい活動ができている」との回答は、ほぼ変わらない。

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

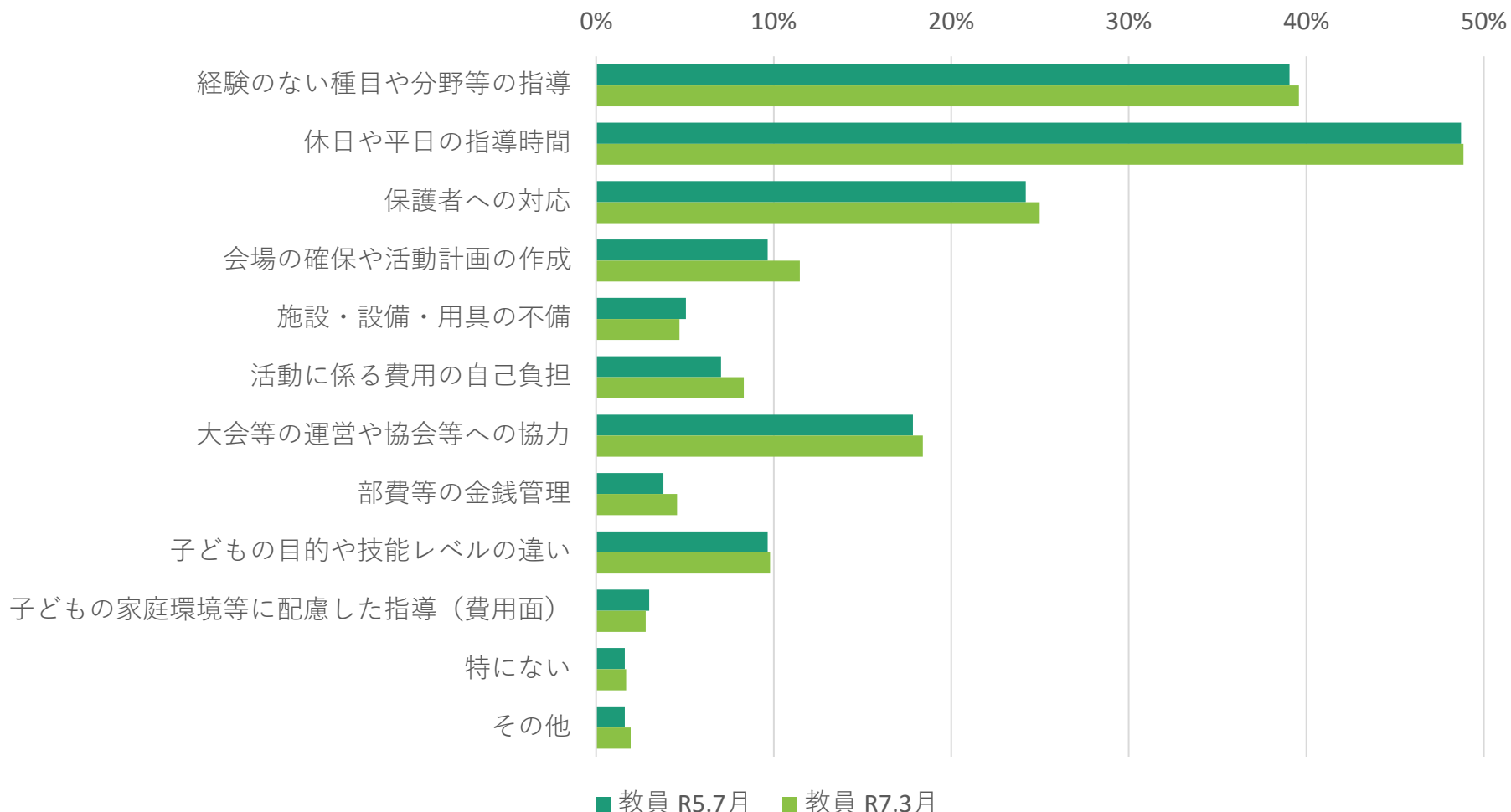
(5) 現在の活動への負担感について（保護者）＜上位3つまで＞



保護者の負担感は、「練習や試合、大会等の送迎」が大きく、前回調査より大きくなっている。また、「活動に係る経費」や「練習や試合・大会等での補助、当番」も負担感をもっている。

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

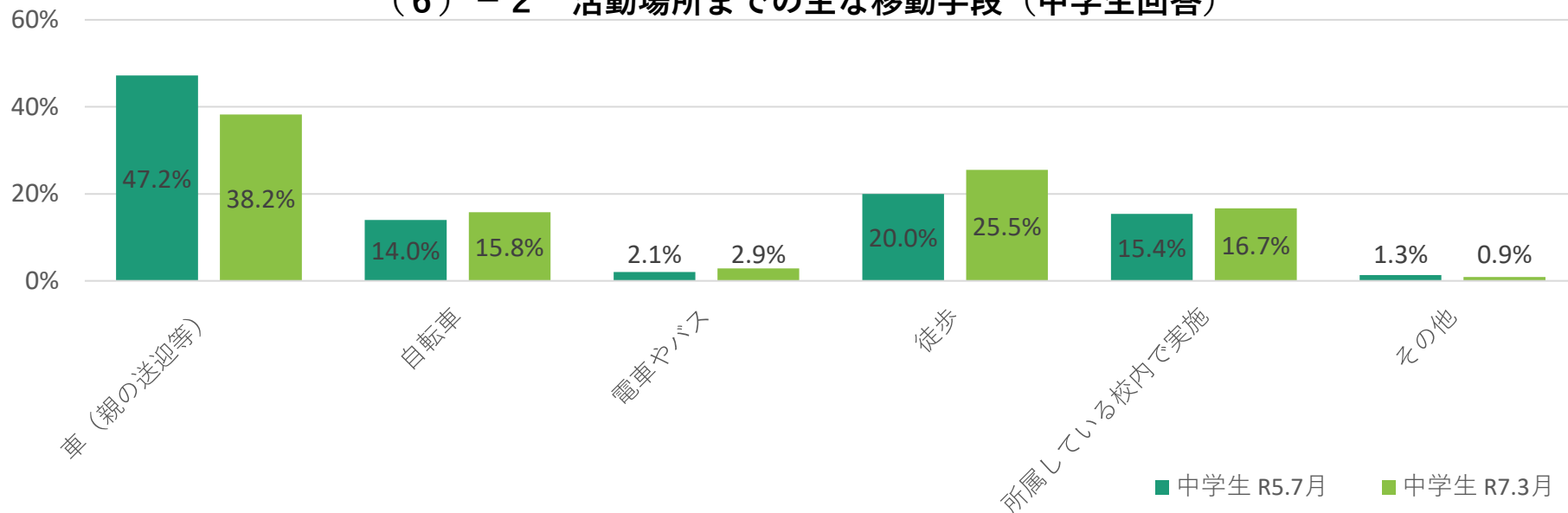
(5) 現在の活動への負担感について（教職員）＜上位3つまで＞



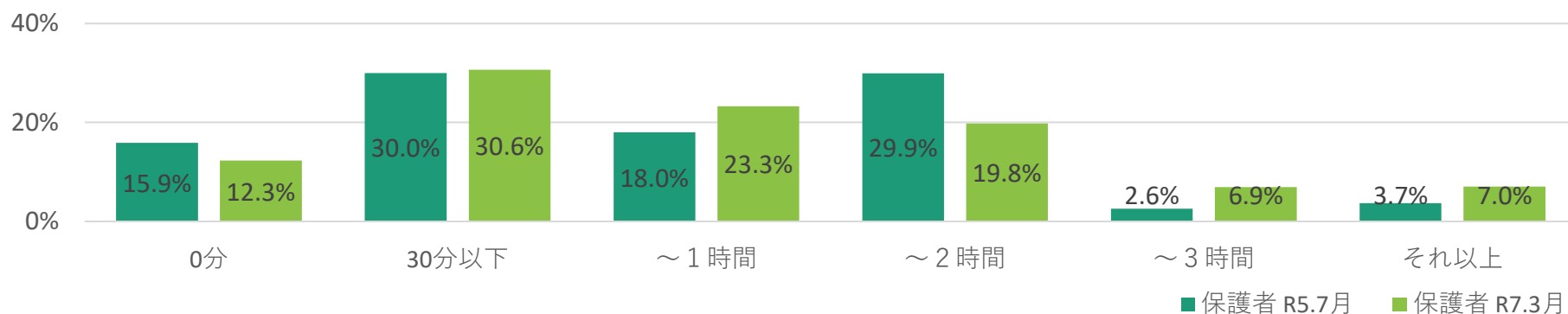
教員の負担感は、「休日や平日の指導時間」「経験のない種目や分野等の指導」が多く、次に、「保護者への対応」や「大会等の運営や協会等への協力」と続く。前回調査に比べて、「会場確保や活動計画の作成」(+1.8)の割合が高くなった。

1 現在の学校部活動・民間クラブ活動の状況について

(6) - 2 活動場所までの主な移動手段（中学生回答）



(6) - 1 活動場所までの送迎時間（保護者回答）

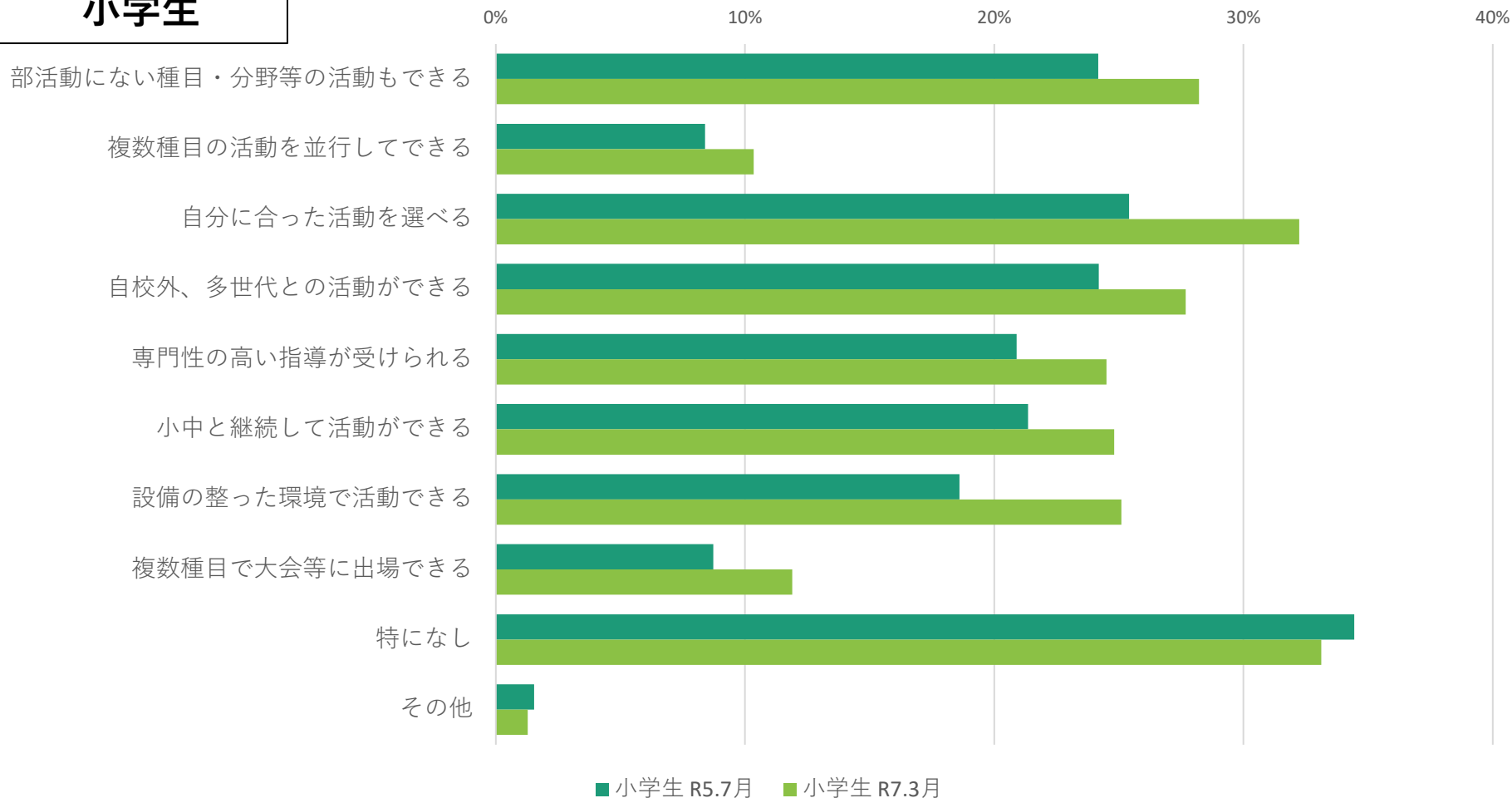


保護者による送迎が最も多い（38.2%）が、前回調査より9ポイント低くなり、自転車や徒歩等の移動手段が徐々に多くなっている。1時間以上2時間未満の送迎時間は大きく減少したが、2時間以上も増加している。

2 今後の地域クラブ活動について

(1) 地域クラブ活動に期待していること<上位3つまで>

小学生

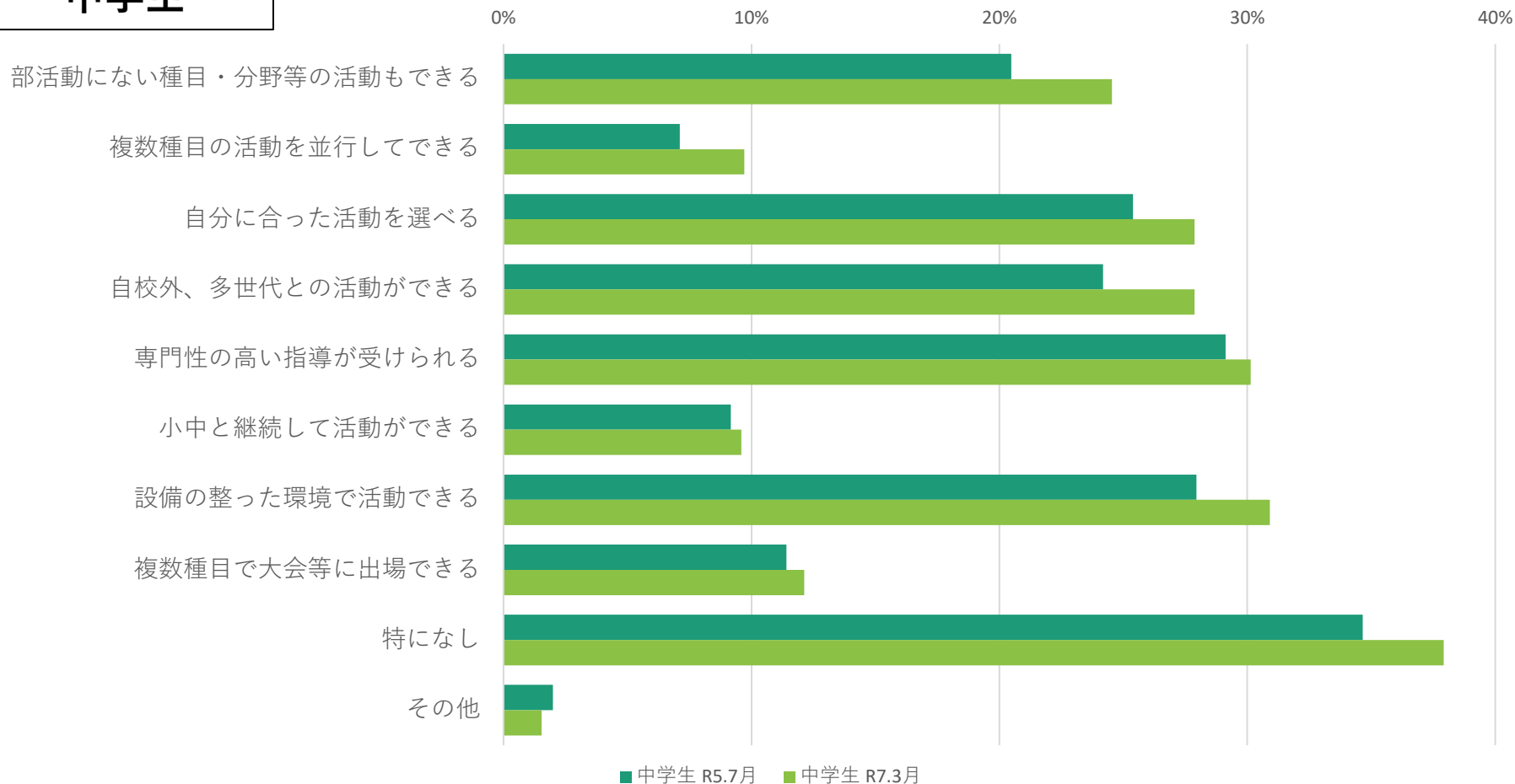


前回調査同様に、「自分に合った活動を選べる」「部活動にない活動ができる」「自校外、多世代の活動ができる」が上位となった他、多くの項目で割合が高くなった。また、「特になし」の回答も多い。

2 今後の地域クラブ活動について

(1) 地域クラブ活動に期待していること<上位3つまで>

中学生

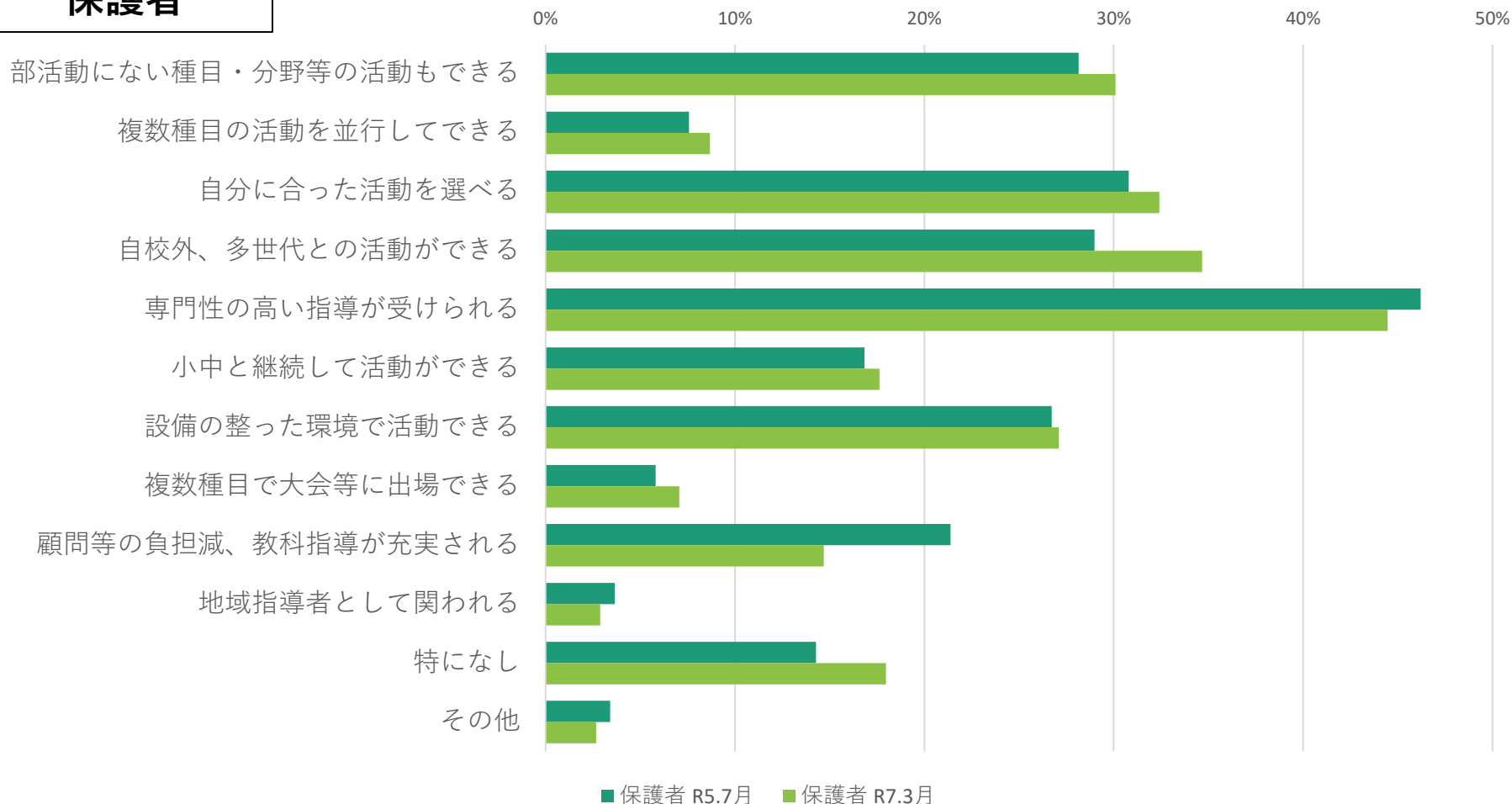


「設備の整った環境」「専門的な指導」「自分に合った活動を選べる」「自校外、多世代の活動ができる」が上位となった他、多くの項目で割合が高くなった。また、「特になし」の回答も多い。

2 今後の地域クラブ活動について

保護者

(1) 地域クラブ活動に期待していること<上位3つまで>

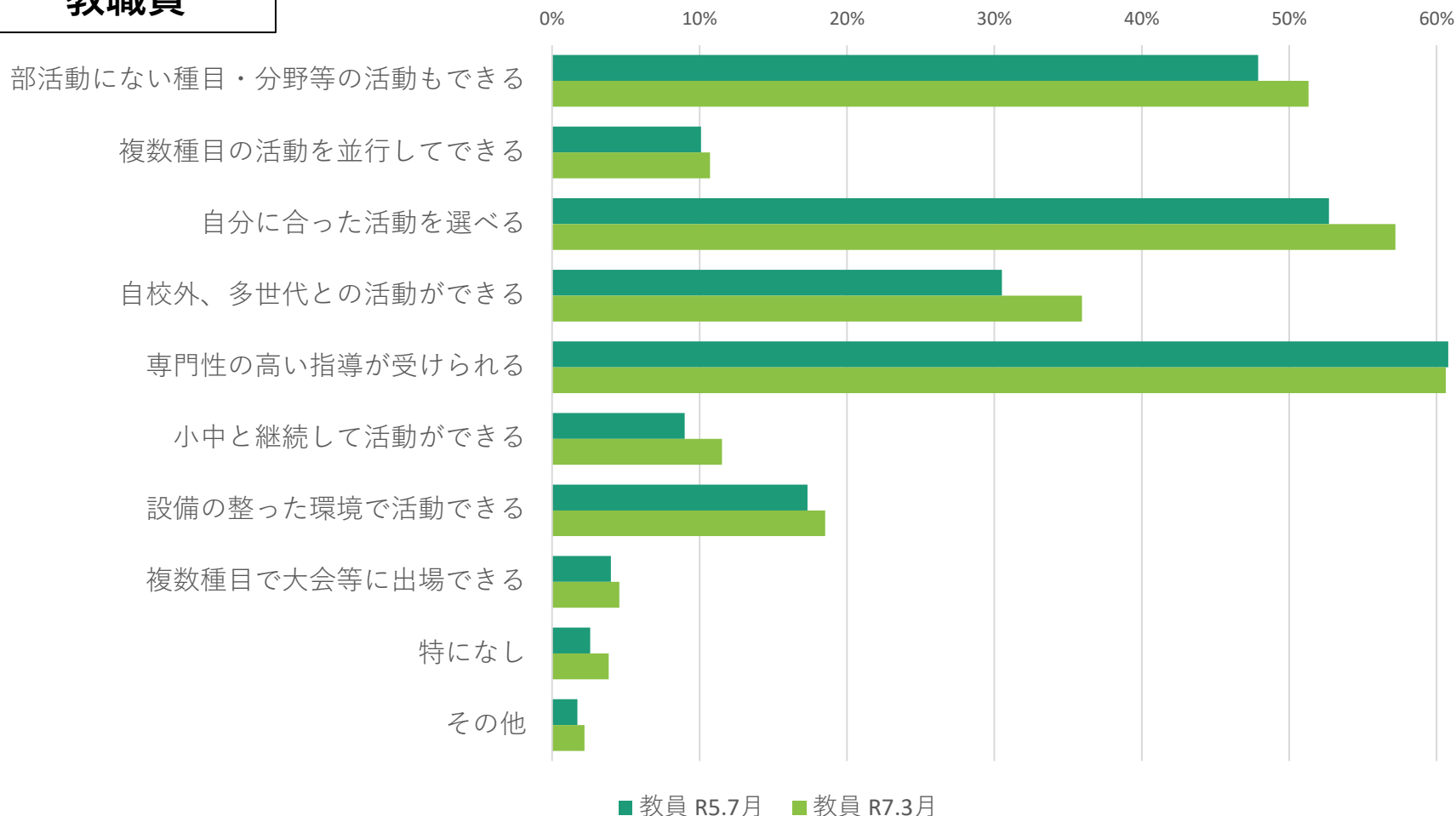


「専門的な指導」を期待する割合が圧倒的に高く、「自校外、多世代の活動」や「自分に合った活動」「部活動にない活動」への期待も高い。

2 今後の地域クラブ活動について

教職員

(1) 地域クラブ活動に期待していること<上位3つまで>

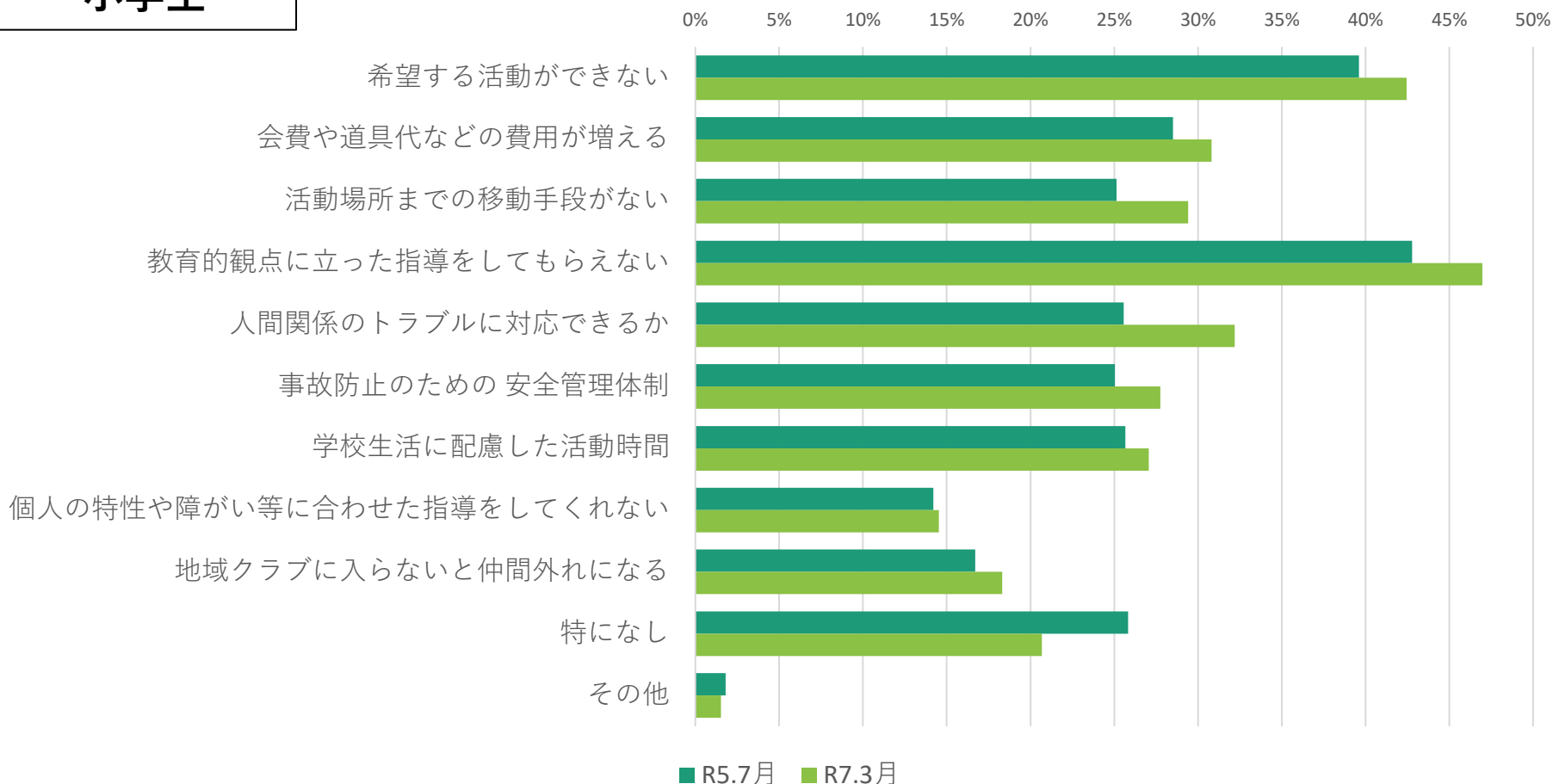


小学生・中学生・保護者の回答に比べて「専門性の高い指導を受けられる」の割合が高く、前回調査同様6割を超える。「自分に合った活動」「部活動にない活動」「自校外、多世代との活動」への期待も前回調査に比べて高くなった。

2 今後の地域クラブ活動について

小学生

(2) 地域クラブ活動に不安なこと

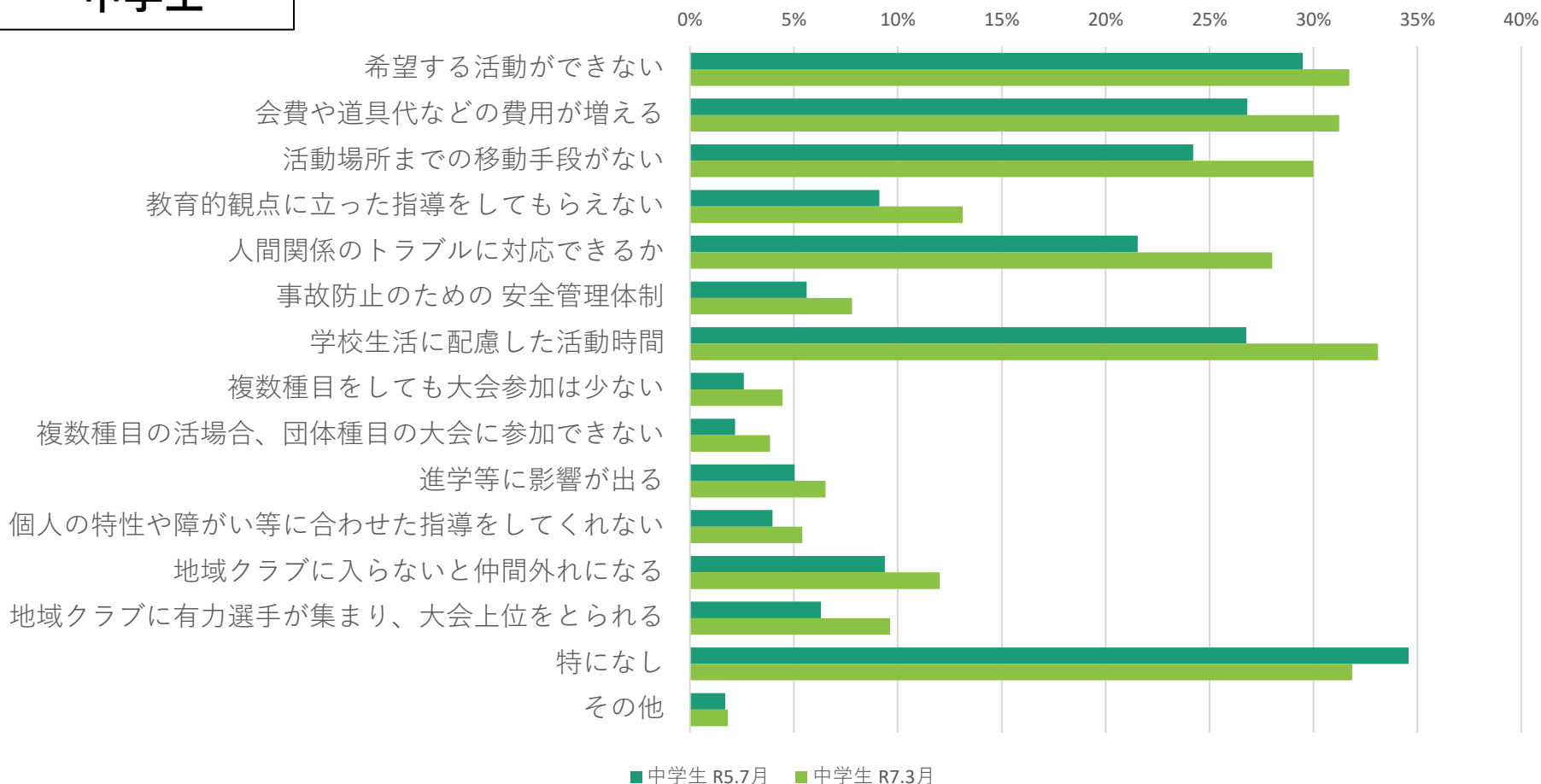


「教育的観点に立った指導」や「希望する活動ができない」の割合が高く、前回調査同様6割を超える。「自分に合った活動」「部活動にない活動」「自校外、多世代との活動」への期待も前回調査に比べて高くなった。

2 今後の地域クラブ活動について

中学生

(2) 地域クラブ活動に不安なこと

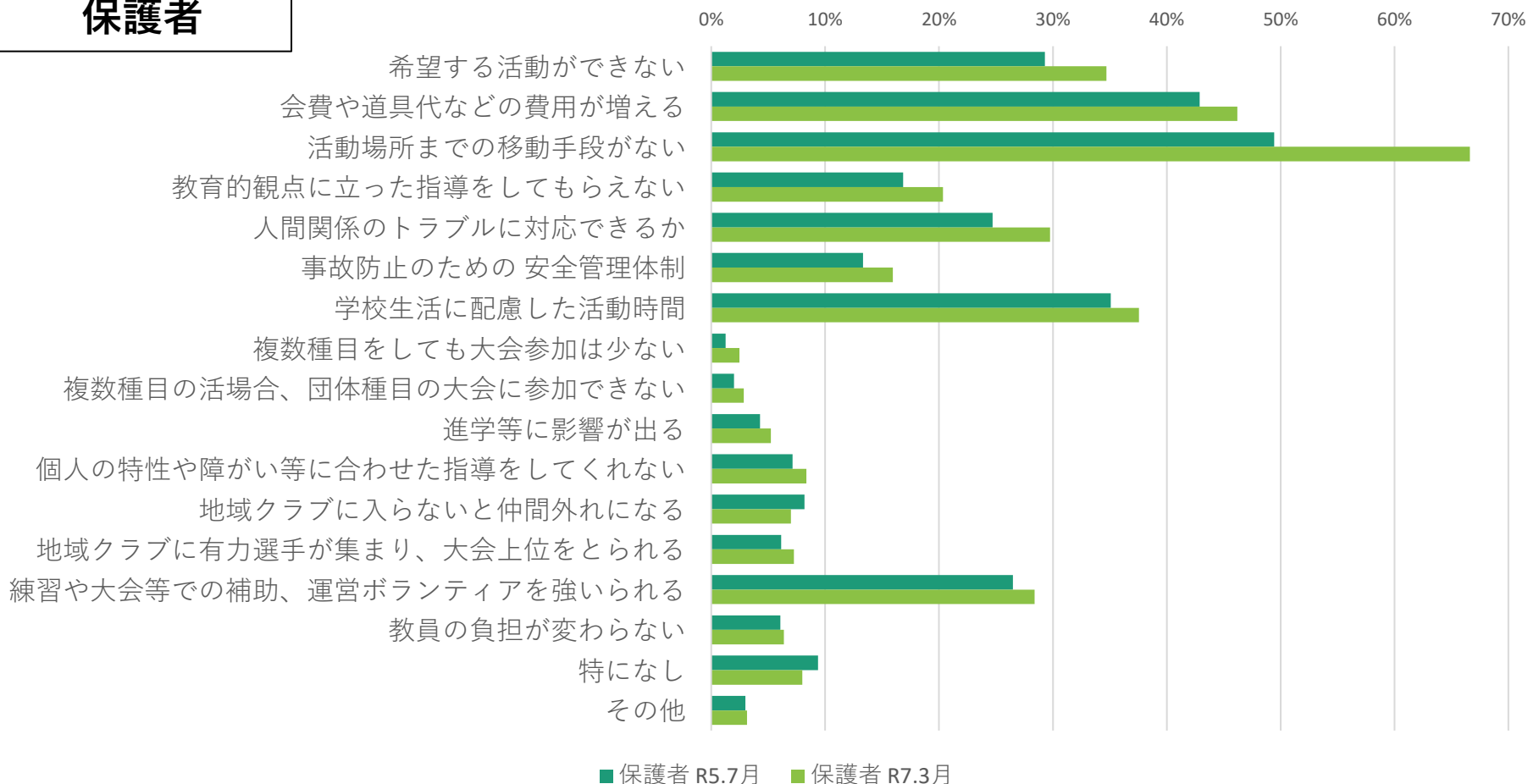


各市町村で部活動の地域移行が展開される中、ほぼ全ての項目で不安感が高まる。特に、「人間関係のトラブル」(+6.5)、「学校生活に配慮した活動時間」(+6.3)。「活動場所までの移動手段」(+5.8)に不安をもつ生徒が多くなり、いずれも30%を上回る。

2 今後の地域クラブ活動について

(2) 地域クラブ活動に不安なこと

保護者

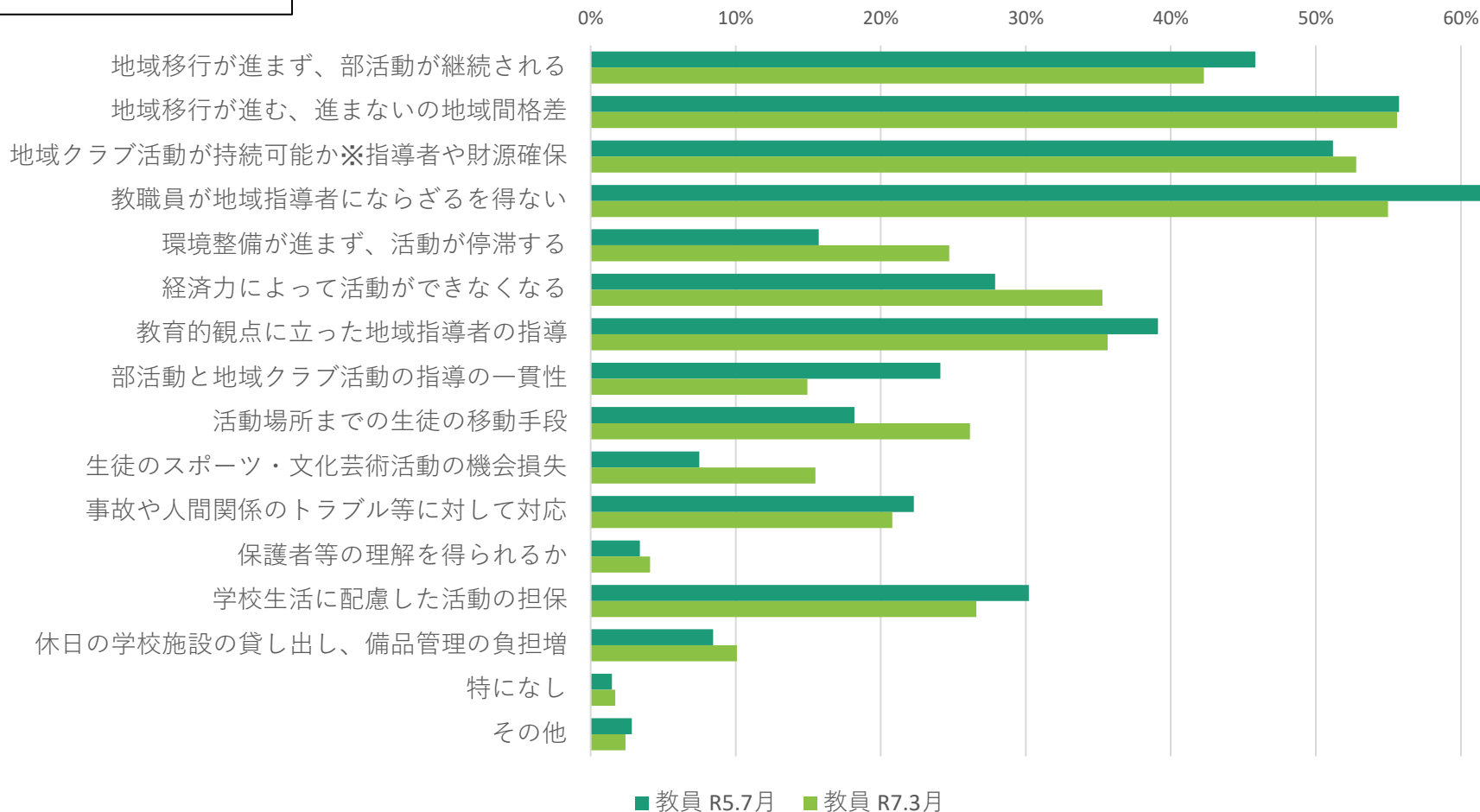


各市町村で部活動の地域移行が展開される中、「活動場所までの移動手段」(+17.2)が、圧倒的に保護者の不安(66.6%)になっている。この他、活動費用の負担や、学校生活に配慮した活動時間、希望する活動ができない等の不安とともに、保護者が練習や大会での補助・ボランティアを受け持つことに不安を抱く保護者が30%弱いる。

2 今後の地域クラブ活動について

教職員

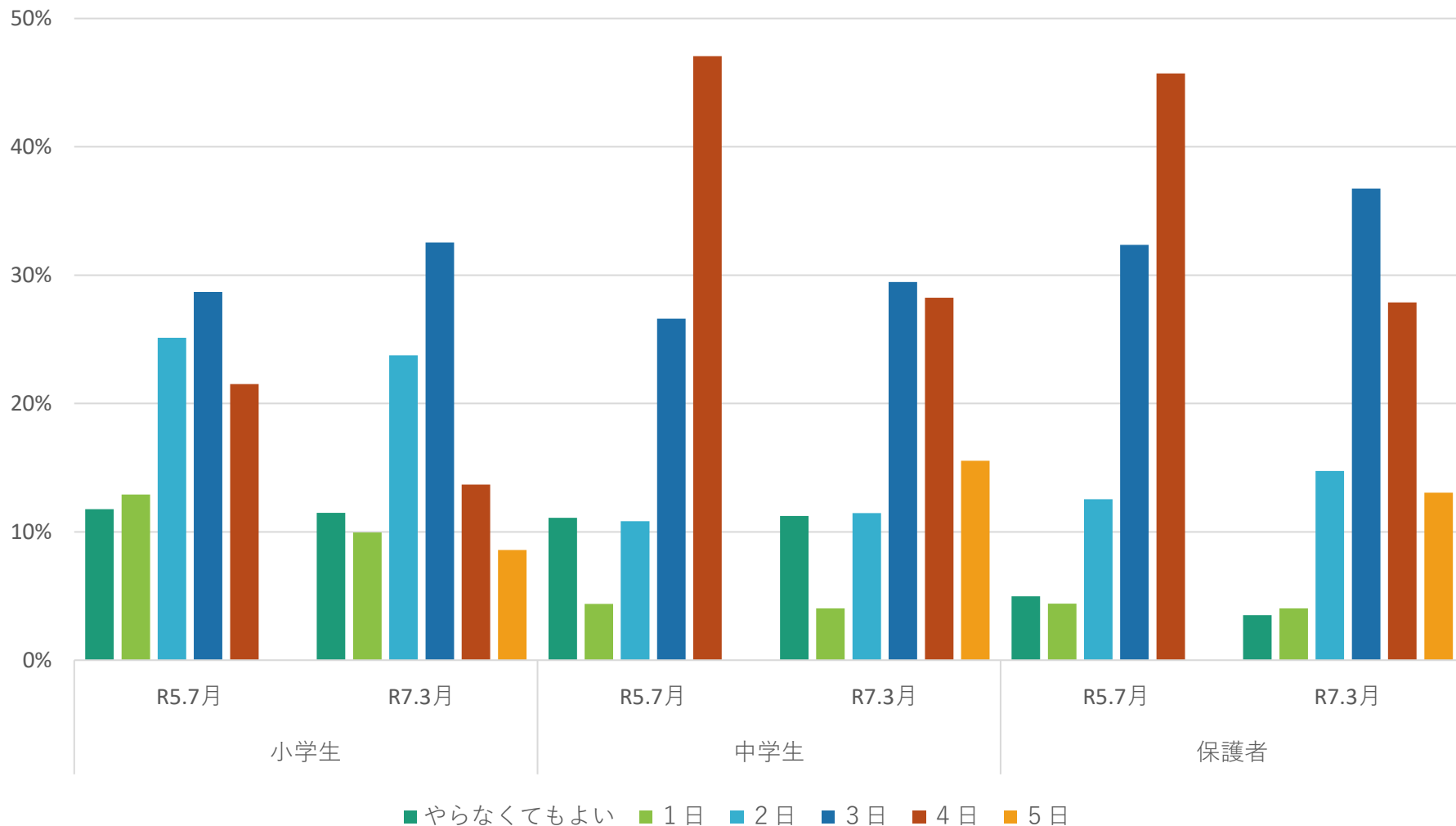
(2) 地域クラブ活動に不安なこと



各市町村で部活動の地域移行が展開される中、「地域間格差」や「教職員が地域指導者にならざるを得ない」「地域クラブが持続可能か」の不安とする上位3つは変化はないが、「教職員が地域指導者にならざるを得ない」は、7ポイント減少したが、「環境整備が進まず活動が停滞する」(+9.0)、「活動場所までの移動手段」(+8.0)、「スポーツ・文化芸術活動機会の損失」(+8.0)を危惧する回答が高くなっている。

2 今後の地域クラブ活動について

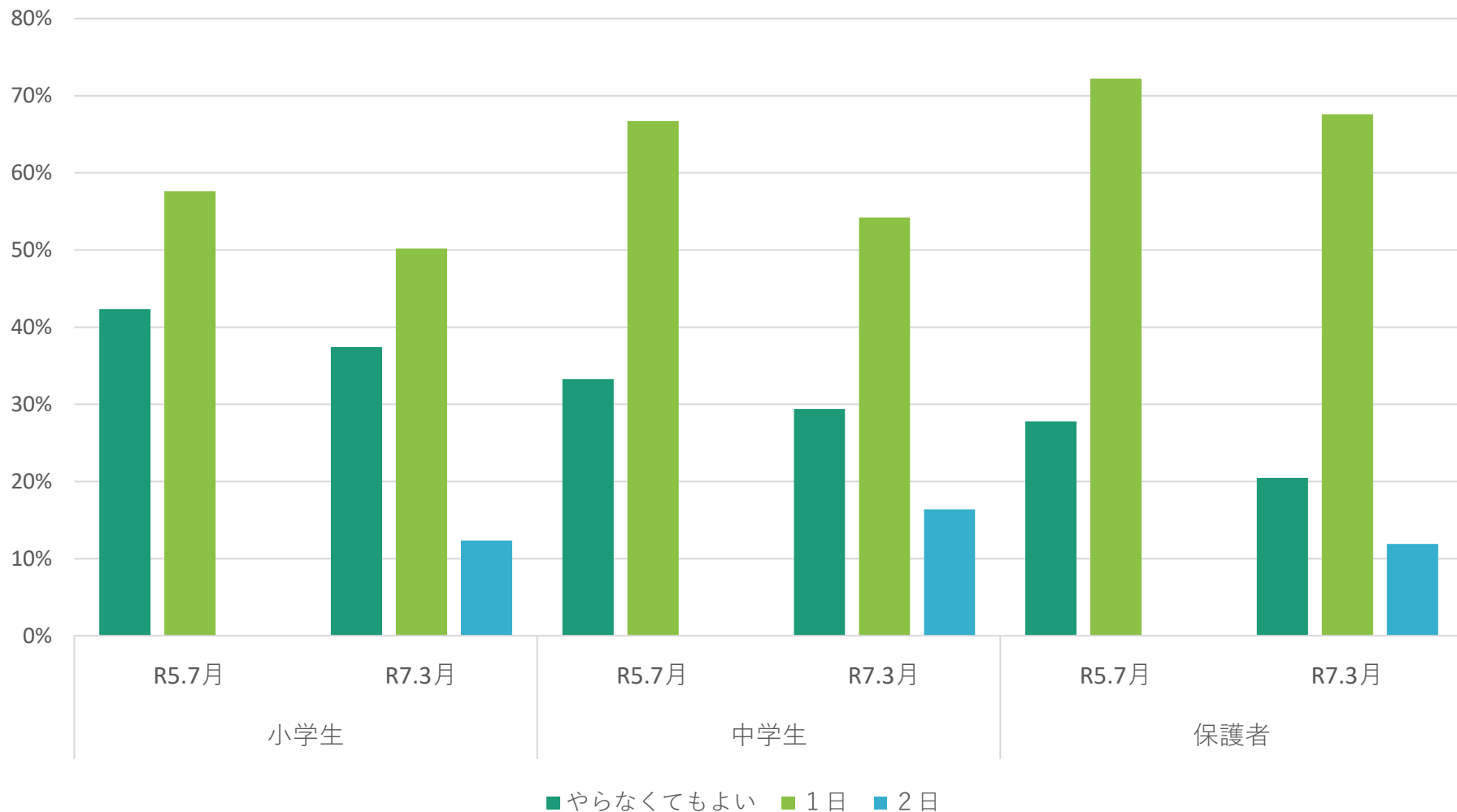
(3) 平日の活動希望日数



小学生は週3日が多いが、中学生や保護者は、現在の部活動に倣って週3日若しくは週4日が多い。また、週5日を希望する中学生や保護者も少なくはない。

2 今後の地域クラブ活動について

(4) 休日（土日）の希望活動活動日数



小学生、中学生、保護者とも休日は週1日の活動日数の希望が多いが、週2日を希望する小学生、中学生は20%以下ではあるが、一定数いる。